

Makita

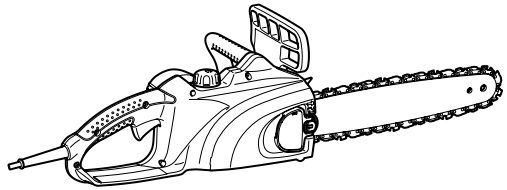
取扱説明書

チェーンソー

☐ 300mm モデル MUC301

☐ 350mm モデル MUC351

☐ 400mm モデル MUC401



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**チェーンソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

主要機能 \ モデル	MUC301	MUC351	MUC401
電動機	直巻整流子電動機		
電圧	単相交流 100V		
電流	15A		
周波数	50-60Hz		
消費電力	1430W		
ガイドバー長さ	300mm	350mm	400mm
チェーンスピード	13.3m/s		
使用チェーン刃	オレゴン 91VG-46E/ 91PX-46E	オレゴン 91VG-52E/ 91PX-52E	オレゴン 91VG-56E/ 91PX-56E
本機寸法 (チェーン刃、 ガイドバー除く)	長さ 436mm × 幅 244mm × 高さ 200mm		
質量 (チェーン刃、 ガイドバー除く)	3.8kg	3.8kg	3.8kg
振動 3 軸合成値	4.0m/s ²		4.5m/s ²

- ・ 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
- ・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

チェーンソー安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB073-4

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
3. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
 - ・ 本機がはね返り、けがの原因となります。
4. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。
5. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・ 本機が跳ね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 11.〔事業者の方へ〕樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条第 3 項
	安全衛生特別教育規程	第 10 条の 2
	労働安全衛生規則	第 36 条第 8 号の 2

⚠ 注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
2. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
 - ・ 本機が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
6. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

注

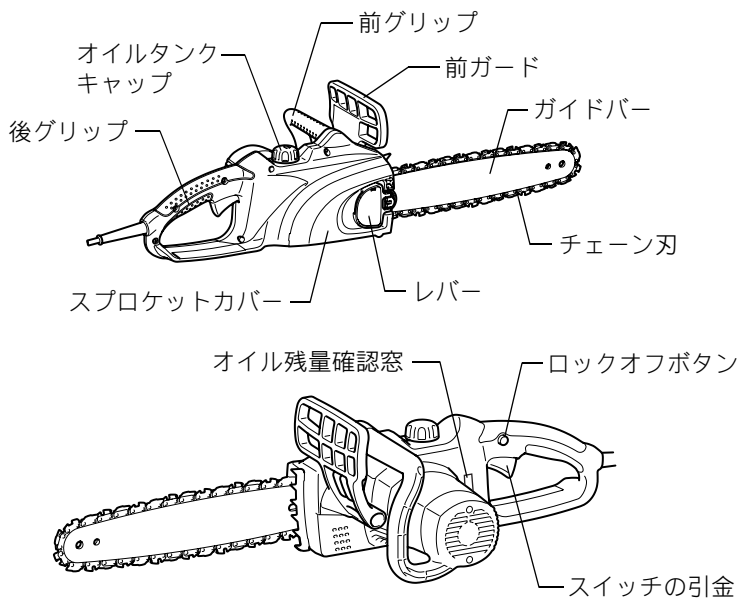
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ チェーンオイル
- ・ チェーンカバー

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ チェーン刃
 - 91VG-46E 部品番号 A-30019 (MUC301 用)
 - 91VG-52E 部品番号 A-12837 (MUC351 用)
 - 91VG-56E 部品番号 A-12843 (MUC401 用)
 - 91PX-46E 部品番号 A-55647 (MUC301 用)
 - 91PX-52E 部品番号 A-55653 (MUC351 用)
 - 91PX-56E 部品番号 A-55669 (MUC401 用)
- ・ ガイドバー
 - 部品番号 165200-0 (MUC301 用)
 - 部品番号 165201-8 (MUC351 用)
 - 部品番号 165202-6 (MUC401 用)
- ・ デプスゲージジョインタ
 - 部品番号 D953100071
- ・ 丸ヤスリ
 - 直径 4mm (ハンドル付) : 部品番号 A-44024
 - 直径 4mm (ハンドルなし) : 部品番号 D953003090
- ・ 平ヤスリ (ハンドルなし)
 - 部品番号 D953003060
- ・ ハンドル (ハンドルなしタイプの丸ヤスリ、平ヤスリ用)
 - 部品番号 D953004010

使い方

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

- ・ けがの原因になります。

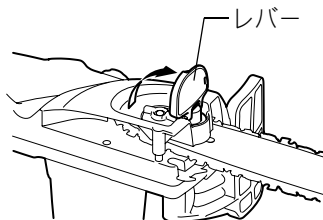
チェーン刃の調整

⚠ 警告

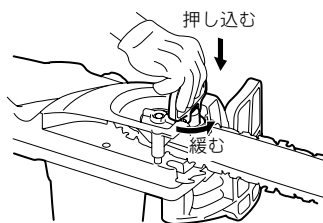
チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。

- ・ 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

- ・ レバーを図のように起こします。

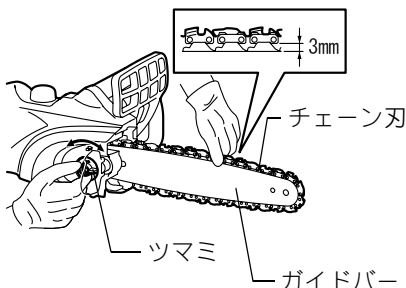


- ・ レバーを押し込みながら左（反時計回り）へ約 1/4 回転回してナットを軽く緩めます。（レバーを押し込むとガイドバーを固定しているナットとレバーがかみ合います。）

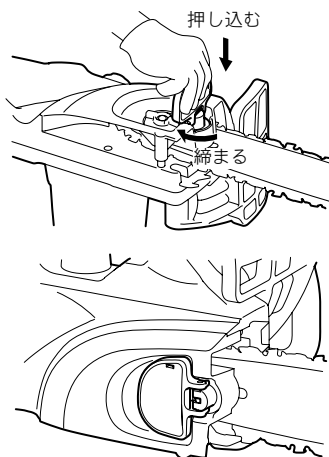


使い方

- ガイドバーの中央部でチェーン刃を持ち上げて本機が浮きあがった時、ガイドバーとチェーン刃との間が、3mm程度になるようにツマミを回してチェーン刃の張りを調整します。



- この時、ガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整します。
- レバーを押し込みながら右 (時計回り) へ回してナットをしっかりと締めます。
- レバーを元の位置へ倒します。



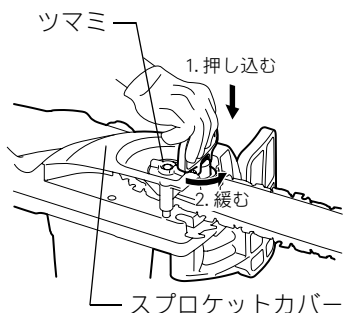
注

- チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗、ツマミの破損などの原因になります。
- 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切り屑などのないきれいな場所で行ってください。

使い方

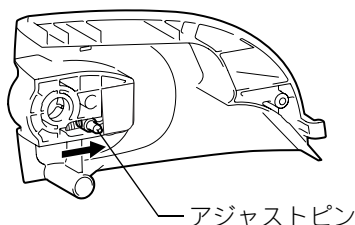
チェーン刃の取りはずし方

- ・ レバーを起こします。
- ・ レバーを押し込みながら左へ回してスプロケットカバーがはずれるまでナットを緩めます。
- ・ ツマミを左へ回してチェーン刃の張りを緩めます。
- ・ スプロケットカバーを取りはずします。
- ・ チェーン刃、ガイドバーを本機より取りはずします。

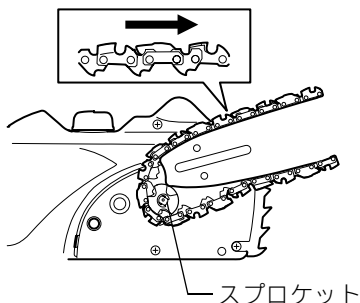


チェーン刃の取り付け方

- ・ 事前にスプロケットカバーのツマミを左へ回してアジャストピンを後へずらしておきます。

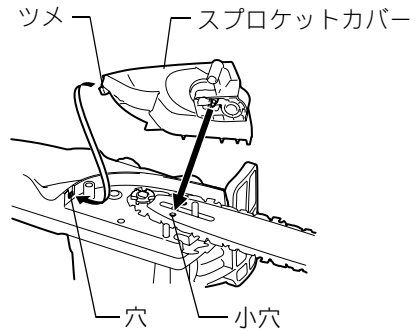


- ・ ガイドバーの先端にチェーン刃を入れ、他端を本機のスプロケット部に入れます。
- ・ この際、チェーン刃は矢印方向に回転しますのでチェーン刃の方向を図のようにセットします。
- ・ ガイドバーを本機の取り付け面にのせます。

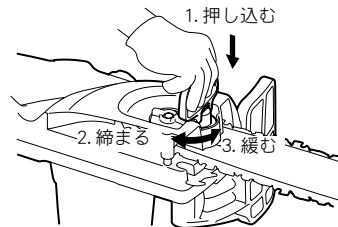


使い方

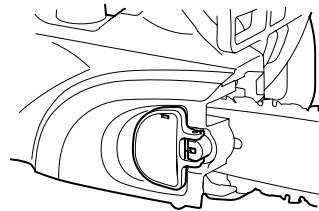
- ・ スプロケットカバー後部のツメを本機の穴に引っ掛けてから、アジャストピンをガイドバーの小穴に入れてスプロケットカバーをかぶせます。この際、アジャストピンの位置がずれてガイドバーの小穴にはまらない場合は再度ツマミを回してアジャストピンの位置を調整します。



- ・ レバーを押し込みながら右へ回してナットを一旦締めてから、左へ約 1/4 回転回して軽く緩めます。



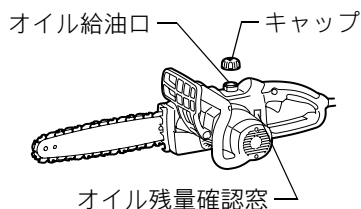
- ・ チェーン刃の調整 (P11 参照) に従って、チェーン刃の張りを調整し、レバーを押し込みながら右へ回してナットをしっかりと締めます。
- ・ レバーを元の位置へ倒します。



使い方

チェーンオイルについて

- ・ チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。
- ・ オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認します。
- ・ チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れます。容量は約 200mL です。



注

- ・ はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンク一杯に入れてください。
- ・ チェーンオイルは、マキタチェーンソー専用オイルまたは市販のチェーンオイルか下記のエンジンオイルをご使用ください。
- ・ 夏期：SAE No.20W-40
- ・ 冬期およびヤニなどの樹脂の多い木：SAE No.10W-30
- ・ ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

チェーンブレーキ

⚠ 警告

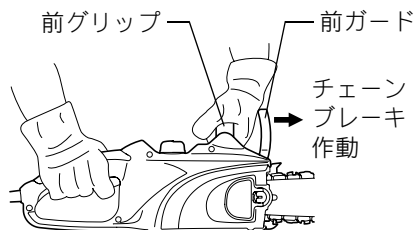
ブレーキを解除する前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチをいれたままブレーキを解除すると急にチェーン刃が回り、事故の原因になります。
- ・ 本機は万一、キックバック（はね返り）が生じた場合、危険を少なくするために急ブレーキ装置を備えています。

使い方

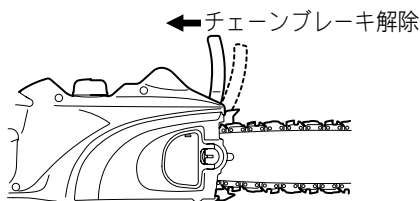
ブレーキの操作

- ・ 本機の前ガードに前グリップを持っている手の甲がキックバックによりあたって倒れるか、または手の甲で前ガードを前方に倒しますとブレーキが作動し、瞬時にチェーン刃は停止します。

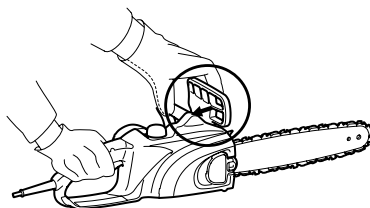


ブレーキの解除

- ・ ブレーキを解除するには前ガードを手前に「カチッ」と音がするまで引き戻します。



- ・ 引き戻す際、前ガードの本機との接続部付近（図の○印部）を強く引き寄せます。



注

- ・ ブレーキの作動を作業前に確認してください。
- ・ 使用前にチェーンブレーキが作動していないか確認してください。

使い方

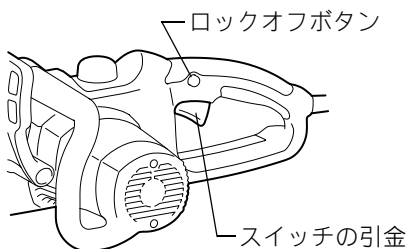
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチの引金を離すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。

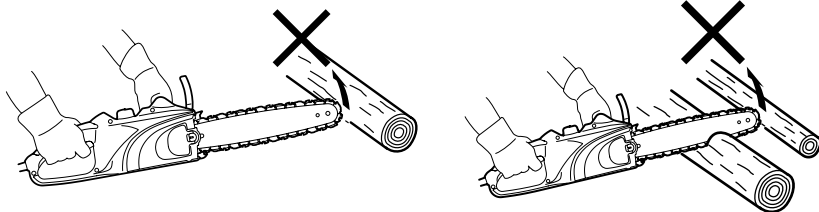


切断方法

⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。
- ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
- ・ 本機が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。



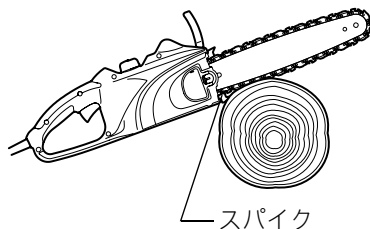
⚠ 注意

切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。
- 2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。
- ・ 事故の原因になります。

使い方

- ・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ります。
- ・ 本機を木材に当てて、そのまま真下へ押しして切断します。
- ・ 本機前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本機が安定します。



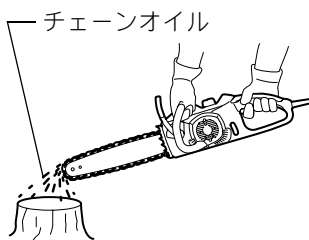
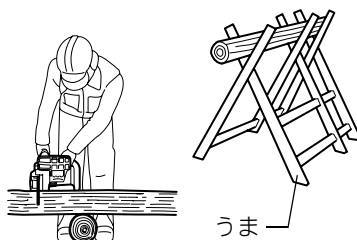
注

- ・ 本機に無理な力を加えないでください。

チェーンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

- ・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定します。
- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れます。
- ・ ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認します。
- ・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本機を押しして切断します。この際、無理に本機に力を入れないでください。



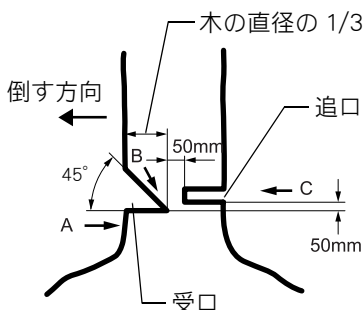
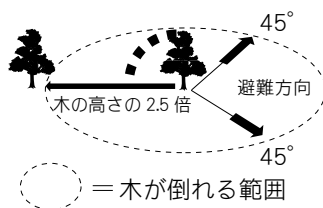
各種の切断作業例

- ・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

使い方

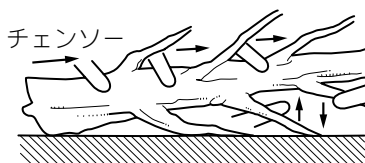
伐木作業（立ち木を倒す作業）

- ・ 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- ・ 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
- ・ 図のように木を倒す方向に、直径の 1/3 程度の切り込みを A、B の順に入れて受口を作ってください。
- ・ 受口の水平部より約 50mm 上部に、受口の水平部と平行に追口 C を切り込んでください。
- ・ 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
- ・ 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したりチェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。



枝払い作業

- ・ 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。
- ・ 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



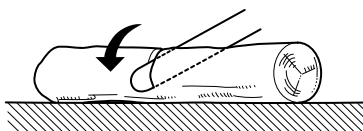
造材作業（倒した木を切断する作業）

丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

使い方

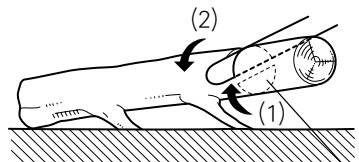
1. 丸太全体が地面に接している場合

- (1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



2. 丸太の一端が支持されている場合

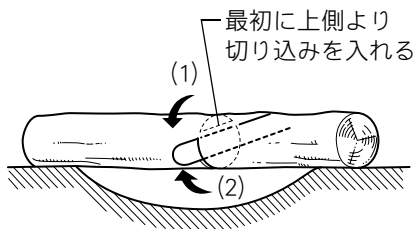
- (1) 最初に丸太の下側より直径の 1/3 まで切り込んでください。
- (2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



最初に下側より切り込みを入れる

3. 丸太の両端が支持されている場合

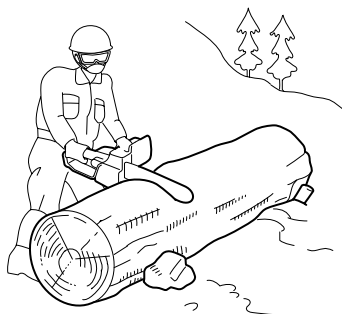
- (1) 最初に丸太の上部より直径の 1/3 まで切り込んでください。
- (2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



最初に上側より切り込みを入れる

4. 斜面で丸太を切断する場合

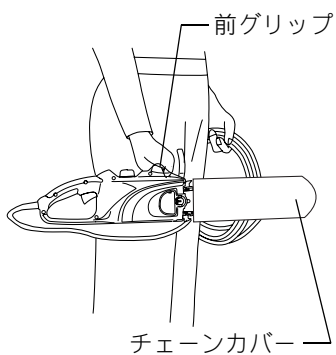
- (1) 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
- (2) 山側に立って、1.～3.の内の適した方法で作業してください。



使い方

チェーンソーの持ち運び

- ・ チェンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをガイドバーにかぶせ、前グリップを持って運んでください。



⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

チェーン刃の目立て

⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

- ・ 特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切れやすくなり、けがの原因になります。

チェーン刃各部の名称

上刃

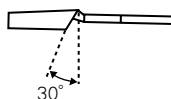
横刃

デプスゲージ



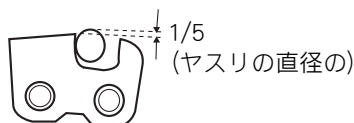
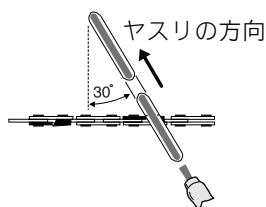
目立て角度

上刃目立て角度



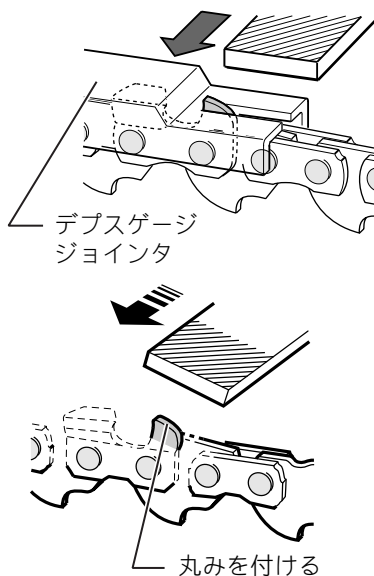
1) 上刃および横刃の目立て

- ・ ガイドバーに対して丸ヤスリ（別販売品）を 30° 傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃よりできるようにチェーン刃に当ててください。
- ・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



2) デプスゲージの調整方法

- ・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしるを適正 (0.64mm) に保つためのものです。
- ・ デプスゲージジョインタ (別販売品) を図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。
- ・ デプスゲージの角に丸味を付けてください。
- ・ デプスゲージの調整が終了したら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。

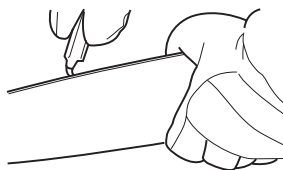


注

- ・ 刃部の目立てには、外径が 4mm (呼び 5/32") の目立て専用丸ヤスリを使用してください。

ガイドバーの清掃

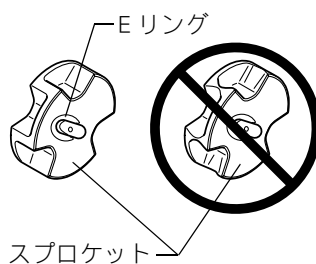
- ・ ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



保守・点検について

スプロケットの交換

- ・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
- ・ スプロケットの状態がイラストのように磨耗している場合、スプロケットを新品と交換してください。
- ・ スプロケットを交換するときには必ず新品のEリングを使用してください。



本機の保管

- ・ スプロケットカバーを取りはずし、本機に付着した切り屑を除去してください。
- ・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・ チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882249F2

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)